



及川 栞 選手
=沼宮内中出身=



田中 海渡 選手
=一方井中出身=



瀬川 真帆 選手
=川口中出身=

町出身ホッケー選手3人

2020 東京五輪代表内定

2020東京五輪のホッケー競技日本代表が6月7日に発表され、男子代表に田中海渡選手（表示灯フラートル）=一方井中出身=、女子代表に及川栞選手（東京ヴェルディ）=沼宮内中出身=、瀬川真帆選手（東京ヴェルディ）=川口中出身=がそれぞれ選ばれました。3人はいずれも初めての五輪代表入りです。

町出身のホッケー五輪選手誕生は、2016年ロンドン五輪に続き2大会ぶり。複数の選手が選ばれるのは初めてのことで、自国開催の東京五輪で町出身選手の活躍が期待されます。2008年北京五輪代表の早野みさきさん（東北銀行）=東部中出身=は3人の代表入りに「自分のことのようにとてもうれしいです。本番はここから。力を存分に発揮できるようにそして感謝の気持ちを忘れずに頑張ってください」とエールを送り、田中海渡選手の姉で、ロンドン五輪代表の田中泉樹さん（コカ・コーラ）=一方井中出身=は「初の五輪の舞台を楽しんで、思い切ってプレーしてほしいです。みんなの応援をパワーにして頑張れ！」と思いを込めたメッセージを届けてくれました。

同五輪ホッケー競技は24日から東京都の大井ホッケー競技場で熱戦が繰り広げられます。

2020 東京五輪ホッケー女子日本代表 (さくらジャパン)

及川 栞 選手

Shihori Oikawa

【経歴】

幼少期からホッケーに親しみ沼宮内小、沼宮内中、不来方高を経て、全国屈指の強豪・天理大へ。同大卒業後はソニーの主力選手として活躍し2018年にオランダ・HC オレンジレッドに移籍。同年にはアジア大会で日本の優勝に貢献しアジア年間最優秀選手に選ばれた。現在は東京ヴェルディに所属。



Interview 01

及川選手の母、及川美代子さん=花巻市= 栞は、幼少時代からグラウンドや体育館でホッケーのまち・岩手町のみなさんに面倒を見てもらいながら過ごしてきました。小・中学校、高校といい仲間恵まれ、大学では日本一も経験し、大きく成長してくれました。私が東部中に勤務していたころの教え子、みさきさんが出場した北京五輪後に「次は私が五輪に連れて行く」というようなことを話してくれた約束を果たしてくれて、感無量です。五輪では、体のコンディションを整え、これまで培ってきた力を存分に発揮して、自国開催のピッチでケガなく活躍してほしいですね。

Interview 02

スポ少時代の指導者・尾形さほりさん(現沼宮内小) 栞さんは小学生の頃からいつも笑顔絶やさず、人を結びつけることができるコミュニケーション能力やチームを引っ張れるリーダーシップを持ち合わせていました。周りをよく見てまとめ、試合の組み立てが上手なプレースタイルは、今の選手としての活躍につながっているのだと思います。前回五輪の代表落選やコロナ禍での五輪延期など、困難も乗り越えた栞さん。周りの人に恵まれながら努力を重ねてきた経験を生かして、自分がやりたかったプレーをチームのみんなと力を合わせて、五輪の舞台で出し尽くしてほしい。栞さんの母校、沼宮内小のみんなと応援しています。

2020 東京五輪ホッケー男子日本代表 (サムライジャパン)

田中 海渡 選手

Kaito Tanaka

【経歴】

一方井小でホッケーを始め、一方井中、天理高(奈良県)、天理大へと進学。世代別の日本代表に中学時代から選出され、2018年のアジア大会では、日本男子の初優勝に貢献。2018年～2019年は、地元のホッケーチーム・岩手クラブで選手として活躍後、実業団の表示灯フラウテルに加入。



Interview 01

田中選手の母・田中礼子さん=一方井= 小さな頃からホッケーが大好きで、外でホッケーをした後も家の中でドリブルをし続けるなど、いつも肌身離さずスティックを握っていましたね。親元を離れて高校、大学時代を過ごしましたが、高校の卒業式では同級生の前で「オリンピックに出る!」と宣言していたのが印象的です。ぶれずに五輪出場という目標に向かって努力してきたことが実を結んだと思います。海渡の夢の一つが叶い、家族みんなで喜びました。いろいろな人にお世話になり、感謝の思いでいっぱいです。五輪では、周りへの感謝の思いを忘れずに、海渡らしいプレーでチームに貢献してほしいです。

Interview 02

一方井中時代の指導者・岩井義則さん(現沼宮内中) 海渡さんは、中学時代からどんな試合でも冷静に周りを見ながらプレーできる選手。チームの中心選手として、技術はもちろんシュートセンス、パスセンスは光るものがありました。当時から、日本代表としてプレーしたいという「夢」を持ち続けていたと思います。きつい練習メニューでも手を抜くことなく、人が見ていないところでも努力を続けることができる選手で、海外のプレーを学ぶなど、研究熱心な一面もありました。五輪では、さまざまな期待やプレッシャーがあると思いますが、自分のやってきたことを信じて100パーセントの力を出してほしいですね。

2020 東京五輪ホッケー女子日本代表 (さくらジャパン)

瀬川 真帆 選手

Maho Segawa

【経歴】

川口小、川口中、沼宮内高を経て、実業団のソニーに加入、2021年6月には東京ヴェルディ入りを発表。沼宮内高3年時の2014年には、同校35年ぶりのインターハイ優勝に貢献。日本代表としても活躍の幅を広げ、2018年のアジア大会優勝に貢献した。



Interview 01

瀬川選手の母・瀬川恵美子さん=上町= 真帆は意志が強く、負けず嫌いな一面がありますが、目標を定めてそこに向かって何をすべきか、自分が何ができるかを考えながら努力を惜しまずここまで頑張ってきたと思います。社会人になってからはけがもありましたが、ドクターやトレーナーなどさまざまな人に対して「恩返しは結果を残すこと」という気持ちを持ってリハビリなどに励んでいました。五輪では、一人ではなくチームであることを意識してチャンスをつくり、生かすプレーをしてほしいですね。ほかのプレーヤーを見て、触れて、相手との違いを感じながらより成長できるような機会にしてほしいです。

Interview 02

小学校時代の指導者・田中きくえさん=土川= 小学生の頃に携わった子が、五輪代表に選ばれ本当にうれしいです。真帆さんは小学生の頃から足の速さと、ホッケーのセンスを持ち合わせていました。負けず嫌いな一面もあり、目標に向かって努力を惜しまない芯の強さを感じさせる選手です。高校卒業後に一流の選手が集まる実業団・ソニーに加入したときも、人一倍の努力を重ねてきたことなのでしょう。けがに悩んだ時期もあったようですが、それを克服して代表に選ばれた真帆さんを誇りに思います。真帆さんらしい気迫のこもったプレーで得点に絡むプレーを見たい。ぜひ1点を決めてほしい。期待せずにはられないですね。

町出身の五輪日本代表選手を みんなで**応援**しよう!!

町では、3人の町出身選手のこれまでの努力、家族の支えに敬意を表し、町を挙げて応援・支援するため応援協力を募集します。

協力は、選手への激励金やパブリックビューイング事業、選手応援事業報告書の発行などに活用する予定です。皆さんの協力をお願いします。

◇協力金の受付方法は…

▽現金を持参する場合

町商工会、町中央公民館、沼宮内・川口・一方井・水堀・久保・北山形の各公民館、役場教育委員会で協力金を受け付けています。

▽銀行振り込みの場合

下の指定口座に振り込みをお願いします。振込手数料は負担ください。

【指定口座】

東北銀行 沼宮内支店 普通口座 5019700
東京オリンピック・パラリンピック岩手町実行委員会

◇協力金の受付は…

令和3年8月31日(火)まで!

5,000円以上の協力で記念品プレゼント!

実行委員会では、5,000円以上の協力を提供して下さった人に選手の名前入りオリジナルタオルを1枚プレゼントします。タオルは納品後にお届けします。

東京オリンピック・パラリンピック岩手町実行委員会
(岩手町教育委員会社会教育課内)

〒028-4395

岩手県岩手郡岩手町大字五日市 10-44

岩手町役場庁舎 3階⑩窓口

☎0195-62-2111 (内線 342、352)

担当 大澤、高橋、遠藤、山下、瀬川



① 2018年、東北総体で岩手代表の一員としてプレーする田中海渡選手
② アジア大会優勝時の及川葉選手(右)と瀬川真帆選手